友愛

発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽7の10
TEL（94）2801
編集・発行人　水谷普
定価　1部　10円

常任幹事会 休会あけ

さる七月二十七日の定例会議以後夏季休会に入つていた常任幹事会は八月二十五日休会あけ初の定例会議を本部において開催、午後五時より十一時まで六時間にわたり全員出席のもとに種々の問題につき討論が行われた。

まず休会中の報告として、深津国際部長より八月一日世界平和の日開催の平和こん談会、続いて水谷常幹から長野県東信地区支部連合結成大会及び八月二十三日箱根早雲山京成寮における千葉県長生郡青年団幹部とのこん談状況（別面記事参照）につきそれぞれ報告があり、また北川情宣部長より近江絹糸津工場における争議実態調査の報告が行われた。続いて議題に入り、組織拡大のための一会員当り三名の新会員獲得運動、第二回平和こん談会開催期日（別項参照）秋季幹事会開催の件、近江絹糸争議に関する最終決定（別項参照）をそれぞれ決定した。

秋季幹事会はさる六月の第一回幹事会において九年中に開催するとの申合せが行われていたが、種々の事情から九月中の開催は困難とみられるため慎重検討の結果十月以降において開催することに変更決定された。このため常任幹事会では各幹事に対し先きの申合せ変更の諒承を求めた。

米ソ共存可能

カレルギー伯聲明

さる八月十日スイス・ローザンヌに滞在中のカレルギー伯より汎ヨーロッパ運動の主宰者としての立場から世界平和の日宣言文が到着した。これはさる八月一日の世界平和の日運動にあたつて、本部より当日発表すべくカ伯に要請中であつたものであるが、航空便の都合で八月一日にはまにあわなかつたので、その全訳を二面に掲載する。

カ伯はこの宣言の中で次の三点を強調し米ソ両陣営の共存は、両者がその努力を怠つていることに原因するのであるから決して実現は不可能ではない、と説いている。

一、原子爆弾、水素爆弾を戦争目的に使用させない努力こそ二十世紀後半の人類に果せられた使命であり義務である。

二、米国、英国連邦、ソ連、中国およびヨーロッパ各国による平和会議の早急な開催を全世界の全人類の名において提唱すべきである。

三、共産主義国ユーゴスラビヤは西欧圏、民主主義国フインランドは東欧圏にあつて、それぞれ存在が可能である。

なお深津中央教育指導部長は、この宣言は『自由と人生』以後におけるカ伯の思想の展開されたものとして、極めて重要な意議があると語つている。

九月十九日開催

参加予定二十数團體

第二回平和懇談会

さる八月一日、世界平和の日運動の一環として本会主催のもとに開催した平和こん談会の席上、第二回の平和こん談会の開催日時について九月中旬と申合せを行い、その決定を出席諸団体から本会に一任にされていたが、さる八月二十五日の常任幹事会において、来る九月十九日（日曜日）午後一時より東京都水道橋東京都中央労政会館において開催することを決定、この旨事務局より関係方面に連絡した。

八月一日の平和こん談会は前号で詳報した如く十五団体三十名の出席者が参集し、多大の成功を収めたのであるが、本会事務局の語るところによれば、各方面特にいわゆる中間派と称されている青年各団体より、次回の期日問合せ等がしばしばあるという。この事実にかんがみ本部では青年、学生二十数団体が参加するものとみている。

十一月二十一日 第二回幹事会

第二回幹事会については種々の事情により九月中開催を延期し一応十一月二十一日開催を決め、本部では準備を進めることになつた。

初の支部連合会発足

十七カ町村を糾合

長野縣 東信地区支部連合会

【挨拶する鳩山会長】

さる八月十五日長野縣北佐久郡本牧町望月高校講堂において同縣東信地区支部連合会結成大会が行われた。これは本会初の支部連合会であり、同縣南北両佐久郡小縣郡にわたる十七カ町村の各支部を結集して発足したもので、同地方における今后の活発な会活動は大いに期待されている。

会長特に出席

【長野県本牧町】結成式は司会服部齊君（長野県北佐久郡御代田村支部）の開式宣言により八月十五日午後二時開会、君が代齊唱（指揮柳沢定勝君）綱領朗読坂口与曽太君（同協和村支部）に続いて、本牧町支部大草利男君から本年三月奥田組織部長が同地を訪れて以来支部連合会結成に至るまでの経過報告を行つたのち、春日村支部小林茂男君同支部連合会則および役員発表を行い、奥田組織部長から本部を代表して次の如き挨拶ののち、それぞれ別項の如く来賓挨拶あり、春日村支部市川義雄君宣言文を朗読、ここに本会初の支部連合会である長野県東信地区支部連合会が成立、友愛の歌合唱をもつて結成式を終了した。

続いて行われた記念講演会には鳩山会長は軽井沢にて静養中であつたが、同地区会員及び柳沢評議員らの熱心な出席懇請によつて同日炎暑にもかかわらず特に出席挨拶を行い一般聴衆に多大の感銘を与えた。（要旨は二面に掲載）

【奥田組織部長挨拶要旨】本日この支部連合会の結成に当り全国三千四百名の同志を代表してこころからおよろこび申上げます。本日はまた終戦記念日であります、われわれは如何なることがあろうとも今後絶対に平和を守り抜かなければなりません。友愛とは人類愛人間愛に出発点をおいています。孔子の仁の思想もまた友愛に通じるものであります。心に友愛を、社会にも友愛をというのが私の主張であります。自由を強調するあまり資本主義社会では貧富の差は益々はげしくなるばかりであります。友愛の説く社会機構は相互扶助を目的としなりたつものであります。ソ連の革命は人民大衆のためにという考え方から出発しながら、その途中において人民大衆の人間性は忘れさられたのであります。自由平等を結ぶものこそ友愛なのであります。友愛がなければ自由も平等も成り立たないのであります。

久保山さん重態に

常任幹事会 談話発表

久保山さん重態の報は、すべての日本人に大きな衝撃と悲痛な感情を呼び起させた。本会では、ビキニ禍事件以来いち早く原水爆禁止運動を平和運動の中に採りあげてその実をあげつつあつたところであるが、久保山さん重態の報に接し九月一日常任幹事会談を次の如く発表した。

広島・長崎と原爆の洗礼をうけ、世界のどこの国の人々より、この問題について敏感であり恐しさを痛感しているわれわれにとつて、ビキニの死の灰は、一層暗い気持にしている時、このような、最悪の事態に至つたことは、悲痛というよりほかにいいようがない。ここで思うことは、日本国内が原水爆禁止、死の灰問題で興論が沸いているのに、世界各国の反響はどうか、特に米国における反響の小さなことである。米政府当局では相当重大視しているようであるが、一般はどうも楽観的であるらしい。われわれは、現在迄、原水爆禁止を叫んできたが、日本だけの興論でなく今こそ世界の興論に盛り上げなければならないと考える。われわれは、この問題に対して無力であるかもしれないが、どうしても叫び続けなければならない。全世界の人々が、本当に原水爆の恐ろしさが解つてもらえるまで叫び続けなければならない。

友愛少年團を計画

発案者は柳沢評議員

奥田組織部長はさる八月二十五日の休会あけ常任幹事会の席上、小中学生を対象とした友愛少年団（仮称）の設立を計画する用意がある、と発言注目された。

奥田組織部長談＝友愛思想の実践の方法としていろいろ考慮中であつたが、たまたま八月中に柳沢あつし評議員と会談中、同氏から友愛思想の実行に関連して、友愛少年団のようなものをこしらえて、小中学生の課外教育に資したら如何という意見が出た。大いに賛成で、少年のために健全なリクリエーションの機会をあたえ、たとえばラジオ体操の会、キャムプ生活、少年の間の手紙の交換、作文集などとりあげたいが、具体案は組織部として検討中であり、教育家とも相談して新機軸を打出すつもりである。資金などの関係もあり実現は来春以降になるだろう。

委員長熊谷君

【長野県本牧町】東信地区支部連合会では結成大会において会則が承認され、これによつて委員長詮衡が行われた結果、本会幹事熊谷典治君（本牧町）が選任された旨発表した。

話あいによる大同団結

連合会結成まで

本会初の支部連合会である長野県東信地区支部連合会は別項の如くさる八月十五日の結成大会によつて発足したのであるが、この支部連合にふくまれる各支部は何処であるかというと、同県北佐久郡春日村（小林辰雄）本牧町（大草利男）布施村（佐藤文雄）協和村（坂口与曽太）中津村（町田吉雄）北御牧村（白倉切男）軽井沢町（土屋長雄）御代田村（服部齊）小諸市三岡（佐藤茂）南佐久郡野沢町（高橋守雄）中込町（林高志）小県郡丸子町（竹内久雄）塩川村（白倉熊太郎）長瀬村（池内正雄）神川村（矢島幸雄）青木村（宮原茂盛和）の十七カ町村で筑摩川流域東西の各主要町村であるわけだ。このうち最後にあげた北佐久の小沿村はまだ独立支部の態勢にいたらないので御代田村と合併のされている。カッコ内はいずれも支部責任者である。

この東信地区に対する最初の種は、本部奥田組織部長川手常幹の二人が本年の春まだ浅いころ本牧町を訪れ同地望月郵便局長尾羽沢知康氏の好意で山城屋旅館においてこの地区青年たちとこん談した時に播かれたものである。この時の入会者は、わずかに五名であつたという。その後軽井沢町在住の柳沢評議員の努力で五月の第一回全国大会には前記十七カ町村から二十三名をオブザーバーとして出席させることができた。

山城屋におけるこん談会の席上入会した熊谷典男現連合会委員長大草次郎君大草利男君小林茂男君らの努力で、四月以降除々にではあつたが会員の数も増えてきた。ところが、支部結成については、地理的な条件、会員相互の連絡不十分等が原因して各町村とも、また東信地区自体としても懸命の努力にもかかわらずその成果はあがらなかつたのである。特に会活動の活発な村と種々な事情で比較的そうでない町村等の間では支部連合会結成に対する意見の食いちがいというより情勢判断の相違というものがあつて、この地区がはじめから支部連合結成の機運に傘下各支部をあげて向いていたというのではなかつた。

こうした事情のもとで軽井沢の柳沢評議員は、多忙の中をさいて各町村青年とこん談し、その意見の調整に敬倒すべき努力を払われていた。また尾羽沢氏も最初の紹介者として公務をなげうつてまでの協力を惜まれなかつた。こうした空気の中で小林茂男君熊谷典治君らが中心となつて傘下会員の意志を調整し自ら土地に賛助会員を求めてその準備を進めさる八月十五日の結成となつたものである。それぞれ事情の異る各支部が話合いの上歩みよつた事実は、今後もあるであろう支部活動等の連絡として大いに参考にされてよいものであろう。また結成にあたつて経済的自立をはかつた準備委員の努力は大きいものがある。

あなたの仕事は面白いか

広島で調査

【広島発】広島大学教育学部で心理学研究室ではこのほど同教室の兼子宙教授ほか大学院研究生十二名を動員して『いまの仕事は面白いですか』『あなたの監督はえこひいきがありますか』など十七項目の質問を広島電報電話局につとめている四百九十名の職員を対照にモラール調査を行つた。同調査は中国電気通信局が公社のモラールと社員の仕事の上での不平不満を心理学的立場から分析して電信電話などで多忙をきわめている職場をより一層あかるく働きよい場所にしようとするために行つたもので八月中旬ごろまでに結果をまとめることになつている。

調査方法は調査員が職員の各々にインタヴイユーして回答を求め『あなたの監督者は面倒をよくみてくれますか』『監督者は信頼できる人だと思いますか』『現在のサラリーで人なみの生活が出来ますか』『仕事の上でのなやみは』等々、かなりつつこんだ質問もあり一部では思想調査ではないかと反対の声もあつたが結局社員の声を聞くことが目的だとあつて全員が協力した。

日本人の総合的研究

【名古屋発】日本と日本人との文化的、人格的特性を的確にキャッチし福祉増進のための基礎資料を打出そうと、名大医学部精神医学教室村松教授、堀助教授らを中心に名大、南山大、愛大、名工大学など約五十名の研究学生を動員し、『人間関係総合研究班』という特別グループが結成され、三年間にわたつての計画で実態調査を行うことになつた。すでにアメリカの精神医学研究資金助成金として四百五十万円の援助を受けており、最初にざる一日堀助教授を中心とした研究員と渥美湾内の愛知県幡豆郡佐久島村に渡り本格的調査にのり出した。専攻学科にふさわしい研究を行い注目されている。

直言

▼近江絹糸の争議はいまだに解決されない。ある人に話したら、まだゴタゴタしているんですか、と。ゴタゴタしているどころではない、中山中労委会長もサジを投げて戦いはこれからだ。夏川社長は外遊を延期したというし、全繊も世界繊維労働同盟から一億五千万円のカンパを要請しいよいよ本腰を入れようとしている、と話したら、へえ！とあいた口がふさがらぬような顔をしていた▼この人の無関心も気になるが、それにもましてこの争議の焦点に立つ夏川社長の態度はあいた口がふさがらぬどころではない、口もあかないではないか。会社側は争議のために二十億円にのぼる銀行預金を使い果した、と聞くにおよんでは何をかいわんやである▼それにしても、これだけ社会を騒がせている問題に政府が本腰をいれないでいることは、直接法規がない、という理由だけで合点するわけにはいかない。国民生活に対して政府が誠意を欠いている一つのあらわれと見てよい▼ところで闘争中の組合員はどうだろうか。最近某市から上京した人の話によると、十五、六から二十二三の若い組合員たちは文字通りのノム、ウツ、カウという生活で帰寮も夜の一時二時、また女子寮に入りびたつて深夜までふざけているという誠に無秩序な状態だと吐きすてる如くに語つた▼長い争議で心身ともに若い組合員たちが自暴自棄になつていることは肯けるところで、彼らがそうなつたのも会社側の人権じゆうりんのしからしむるところで、彼らに罪はない。しかし組合員に対して果してその指導が適切であつたか否か、大多数の組合員は未成年者ではないか。これは全繊の指導力を問題にするに充分な事実である。▼われわれは人権闘争であるが故に組合員を支持する。組合員たちはこの争議によつて何を闘いとらねばならないのか。人権をかちとらんがためには、自己の人格を正しく保持することこそ基本的な態度なのだ。もし伝えらるるが如き組合員の生活態度であるなら、組合指導者たちの反省をうながしたい。

本紙の購読について

本会々員以外の方で、本紙の購読を希望される方は左記料金を添えて直接発行所までお申込み下さい

購読料　一カ年　一二〇円
送料　同　五〇円
合計　金一七〇円

カレルギー伯宣言

一面において報じた如くカレルギー伯はさる八月一日の世界平和の日に当って、以下にかかげる宣言文を特に本会によせられた編集局は中央教育指導部の要請にもとずいてその全訳をここにかかげることにした。

はしがき

本稿は、友愛革命の提唱者クーデンホフ・カレルギー伯が本年八月一日の『世界平和の日』にスイスのローザンヌにおいて発した声明書を全訳したものである。カレルギー伯の思想については、既に会長の訳された『自由と人生』で紹介されているが、同書は一九三八年の出版であって、その後の国際情勢の変化、特に第二次世界大戦後の今日における諸問題については『自由と人生』だけでは、一般会員諸君に充分な説明が与えられないうらみがある。本会では発会以来、その理論的指導を、直接カレルギー伯より受けるべく同伯に要請し、度々機関紙を通じて報告してある如く、極めて有益な示唆及び指導を与えられてきた。この声明書は、世界の最大問題というよりは、むしろ世界そのものの問題である『平和』について同伯の深いその考察と理念と、これを達成するための方途に対して示唆を与えたものである。特に水素爆弾の出現後の世界において、東西両陣営共存の問題、国際平和会議の提唱、ヨーロッパ問題等に関して極めて重要な内容を持つものである。今日の複雑な国際情勢のもとでは、平和についての基本的問題は、ややもすれば見うしなわれやすいのであるが、本会の平和問題に対する指針として、また『自由と人生』の論述の対象となった以後における世界の複雑な様相に対する同伯の理論展開の基礎となる思想として、会員諸君の熟読を期待すること切である。

中央教育指導部

◇米ソ対立と原子戦

長い幸福なそして平和な時代の後をうけて、ヨーロッパがその諸国の不幸な政策によって、世界戦争に突入して、既に四十年が過ぎた。以来全人類はさまざまな悲劇と破滅の連続――熱戦・冷戦・革命また経済的災害・略奪・破壊・迫害・残酷――を経験した。われわれは深い同情の念をもって、この二つの大戦の犠牲者を思い起さずにはいられない。それはすべての人々、死んでいった人に対しては勿論、生き残った人々に対してさえも……。

この悲劇的過去は償うことのできないものである。しかし、もしわれわれが、建設的な平和政策によって、この長い戦争の時代を終らせることができるならば、まだまだ輝しき結実を期待できる。一九一四年以来、戦争に終始したこの四十年を経た今日の世界は、それ以前に普遍化していた真の平和からは、いまだに程遠く、九年前のドイツ第三帝国の崩壊以後、夢にさえ描かれた平和な人類社会は実現されず、かえって冷い戦はアメリカとソビエットの間にひきおこされてしまった。朝鮮動乱を導いたこの冷戦は、われわれ人類を全歴史を通じて最大の悲劇の前に立たしめた。そして原水爆の出現はわれわれの文明の破滅を目前にせまらせたのだ。

もし第三次世界大戦が起れば、歴史上のどんな破滅とも比較することができない大きな破滅をもたらすだろう―旧約聖書で有名なノアの方舟が沈んだという大洪水は例外かもしれないが原爆か水爆が破裂したならば都市は壊滅し、沃野は不毛の地となり、木々も芝生も焼けただれ、泉という泉流れという流れの水は汚染され、どんな大国といえども無人の地となってしまうだろう。こうした放射能地帯では、瀕死の症状にある人たちを助ける医者もなく、またこうした被災の中では、死者を埋葬する人すらいなくなってしまうのだ。

交渉こそ平和への道

米、ソ、中共、英連邦と欧州各國で平和会議

われわれの祖先や先哲の懸命の努力によって創造されたヨーロッパ文明も、水素爆弾の雲の下ではわずか数時間のうちに消滅してしまうだろう。そして、米ソの冷戦が続く限り、何時の日にかこの悲劇がもたらされるのである。その発端となるものは、極地的暴動とか国境紛争または襲撃事件である。われわれは、第一次世界大戦の発火点となったセラエヴオの暗殺を忘れてはならない。

◇国際平和会議

新しい世界戦争にまきこまれる国々の中には、原子爆弾は使用ざれないだろう、との希望を抱いている楽天家がいる。こうした人たちは、第二次世界大戦の間、毒ガスを非合法化する条約が重んじられたということを思い出しているのだが、彼らは原水爆と毒ガスとの違いを忘れている。誰も毒ガス弾によって戦争が解決され得ると望むものはなかった。またもしヒットラーがこの武器で戦争に勝とうと望んだならば、彼は何の疑いもなくロンドン爆撃に毒ガスを使用したであろう。

たとえ、今、世界が国際的管理下に原子兵器の生産を禁止したとしても、決してそれは充分保障されているとは限らない。それは単にこれらの武器の使用を延期するに過ぎないのである。原子兵器の競争は、その管理が終るやいなや抗争国家間に始まるだろう。そして、人々はその敵が兵器を使用しようとする以前に原子兵器を使用しようとするだろう。」

しかし第三次世界大戦のぼつ発をさまたげることによって、原子戦争の悲劇をなくすただ一つの機会がある。何故なら冷い戦の結末は、原子戦か、平和解決か、のいずれかであるから。この平和は、米国、ソ連、英国連邦、中共、欧州の間で開く平和会議によってのみ保証されるのである。この会議は数年を要するかもしれない。その対立は大きすぎる上に、問題はきわめて複雑である。単に領土的司法的問題ばかりでなく、軍備縮少及び原子力管理、世界貿易、そして国際連合組織の改革等の問題までもあるのだ。あのウエストファリア講和条約を準備しなければならなかった平和会議は五カ年にわたって続けられたが、冷い戦の終結を予定しようとするその会議は、もっと長くもっと深く続くかもしれない。世界にわたって休戦しようとするためのこうした交渉を続けている間に、国際的風潮は変り、現在は解決の希望すらなかった多くの問題も、解決の機が熟すようになるだろう。この会議が必ず直面する困難性のために開催を延期してはならない。否、この交渉は多くの時間を必要とするが故に直ちに開始すべきである。

無視されている共存の試み

多くのヨーロッパ人は、東方圏との交渉は望ましいものとして考える一方、またそれは希望の持てぬものとして考えている。人々はソ連は如何なる譲歩もしないから交渉することは不可能だ、というスローガンをくりかえしている。ジュネーブ会議は、双方とも譲歩して、両者の妥協を達成することは可能だとの証明を与えた。また別の人々は、東と西との平和的共存は不可能だと臆断している。彼らは、そのような共存が、西方の同調者としての共産主義国ユーゴースラビヤと、東方との同調者としての民主主義国フィンランドの両者において始められつつあるという事実を無視してしまっている十六世紀を通じて、カトリックとプロテスタントとの間の平和的共存は不可能のように思われていたこの両宗派は、それぞれ相手の宗派の改宗、追放そして皆殺しまでも要求したのだ。そして、二つの異ったイデオロギーの下で代表者間の共存が可能となるまで、百五十年にもわたって、悲惨な戦争が続けられたのである。われわれは再びこの宗教戦争の如き悲劇的な経験を繰返すことは望まない。かえって、共産主義国家群と非共産主義国家群との間の平和的共存が第三次世界大戦の前に準備されるような試みがなされることを望んでいるのだ。

◇二者択一は交渉

イデオロギーの対立を離れてもソ連と欧州の関係は、東欧における明白な事実の如くやはり脅威にさらされている。その解決が見出されないかぎり、われわれは第三次世界大戦に導かれる。そしてまた、われわれを悲劇におとし入れる第二の『アルサス・ローレンノー』それはツイマールとヴァアーナの間であるが――にぶつかる危険を冒すことになる。東欧の国々と西欧との協力は、戦争にしろ平和にしろ、そのどちらにでも交渉次第で企てることができる。

来るべき戦争とは、水素爆弾の爆発を意味する。広大なヨーロッパ大陸を第二のサハラ砂漠に変えることである。この戦争が意図する解放が、かえって解放されるべき人々を皆殺しにすることを意味する。

戦争か平和かのいずれかを選らぶかは相互に交渉するかしないかである。ソ連が西からの攻撃によって脅威を感ずるかぎり、自らの安全を危険にさらすことなしに、この戦略上の地帯を撤退するとは考えられない。冷い戦が終り、ソ連が西方からのいかなる攻撃に対しても安全であり得る時にのみ、ヨーロッパ大陸の将来についても交渉が可能となる。これはもち論、西欧に東欧を付加してゆくことを意図するのではなく、ソ連と西欧の間で一致した種々の交渉の如くに、また彼らがインドシナにおける平和への基礎を構成しているが如くに、国際管理下における自決の精神によってのみ可能なのである。

欧洲連合こそ世界平和への道である

欧州連合は、世界平和に向う一つの本質的段階を構成している。フランスとドイツの対立は、それに固執するかぎり、どんな平和組織を企てても、それは砂上の楼閣である。原子戦争を背景としている現在では、仏独を分離しているすべての問題はその過去の時代錯誤的反響でしかない。

しかし、欧州連合の演説ですらこの大陸の将来を救い得ない。何故なら、欧州連合は、もしこの大陸が米国とソ連の間の原子戦の戦場となった場合には一瞬にして亡びさってしまうだろうから。それ故、欧州連合の対外政策は平和政策であらねばならない。その目的はわれわれの米国の同盟と、われわれのソ連の同盟の間の和解にある。

この平和政策を保証するために欧州自体は強くあらねばならないし、また結合されなければならない。このことに耳をかたむけなければ弱体化し、欧州連合は世界の諸大陸の中で最も弱いものとなるだろう。平和のためのこうした改革運動で、欧州はすべての国民及び善意の政府と協力しなければならない。その第一番には、人類の四分の一を占め、古い文明を構成し、欧州にとって本来の同調者である偉大なる支那大陸の国民との間に新しい友好関係を探し求めるべきである。」

ソ連に対して憎悪をいだくな

汎ヨーロッパ運動は、世界平和が保障されるまで、冷い戦に反対運動を推進するのだ。それはすべての男性すべての女性に、そして平和な世界における統一ヨーロッパ建設の目的をともにするあらゆる組織に依頼する。

新しき国際思潮は、東西の平和交渉を増進するために起ってくるであろう。

欧州の多くの人たちは、ソ連およびその同盟者に対して共通の憎悪を説くことによって、欧州問題に貢献できると信じている。われわれは、この憎悪を持つ人こそ戦争の禍いをうける、という理由からこうした運動を拒否する。われわれの時代では、戦争は――破壊であるが――単に勝利ということでなく同時に犠牲をも意味するのだ欧州の人は誰でも、水素爆弾が空から降る日まで、冷い戦を続けることを認めるか、また平和会議によってこの冷戦を停止すべく政府が決定するような世界平和のために運動することを望むか、そのどちらかを選択しなければならないこの二者択一にこそ、われわれ個人の将来がかかっている。そしてわれわれの子供たち、われわれの友人たち、われわれの血縁者、われわれの欧州各国民の将来がかけられている。

世界戦争か平和か、死か生かの問題はすべて、この二者択一にこそかけられているのである。」

〝共存の可能性〟

欧州一の喜劇俳優フェルナンデル主演の『陽気なドンカミロ』という映画がある。小さな部落で牧師をしているフェルナンデルが共産主義者の村長と対立し、ことごとに争うが、結局は話合いで二人の実立は氷解する、という物語りである。

カレルギー伯は別項の宣言の中で平和のための会議を開催している間に、世界の人々の考え方が変化してゆく。たとえ、今は共産主義を憎悪する人たちでもやがては『汝ノ隣人ヲ愛セ』ということの真理を知るだろう、という意味のことをいっている『陽気なドンカミロ』のような映画が出来たことがその一つの証こであろう。」

日本人に分りやすい友愛

会長、東信地区支部連合 発会式で挨拶

別面で報じた如く鳩山会長は、さる八月十五日の長野県東信地区支部連合会結成式に特に臨席、要旨次の如き挨拶を約三十分間にわたり行い、会場の一般聴衆に多大の感銘を与えた。

友愛青年同志会が全国に拡がって今日はこの東信地区の十七カ町村の支部を連合した長野県東信地区支部連合会の結成式が行われた事は、わが国に友愛思想を紹介した私として誠にうれしく思います。

私が何故友愛思想を日本に普及しようとしたかといいますと、戦争に敗けた日本に外国から民主主義が入ってきました。しかし民主主義というものは、友愛思想にもとずかなければ決して育たないのであります。友愛は一口にいえば仲よくしよう、ということでありますが、日本に民主政治を育てよう、というために昨年の四月この友愛青年同志会をつくったのであります。

日本人の頭にまだ入らぬ民主政治

民主主義、民主政治といわれながら、既に十年を経過していますが日本人の頭には、まだまだ民主政治は入っていません。民主政治は人間一個人を尊ぶところから出発するのであります。人間は万物の霊長といわれ、神の子ともいわれます。これは人間の尊さを表現した言葉でありましょう。その尊い存在である人間の自由を押しつけることはできないとしてこの自由を守ろうとする考えが生れ民主政治のもととなったのであります。英国の偉大な小説家にデイケンスという人があります。この人の代表作に二都物語というのがあります。これはフランスの領主が畑にいた若い女を手ごめにし、その暴行を怒った領民の抗争を描いたもので、これを読むと、人々が自由を求める気持がよくわかります。

自己の尊厳を知れ

皆さん生長の家というのを御存じだと思います。この生長の家では自分は完全無欠なものだ、と教え自分の迷い心が病気となってあらわれる。これをされば人は病気にもかからない。迷い心とは自信がないから起るのだ、と説いています。何故自信がないかといいますと自分の尊さを知らないからだ、自分の尊さのわからないものには自由も理解できない、のだというのであります。この考えを一歩進めて人間は神の子だと考えないのか、キリストの『オオオギモノ』の気持になれ、といっています。かように人間が尊いものということは、理くつから考えられるのです。自分が尊いという自信が心の中にできるか、というとこれは誰にでもできることです。自分の人格の尊厳が守られる、というのが民主政治の根本なのであります。

自己の尊厳と他人の尊厳

自己の尊厳をふりかざし、自分だけが自由であればよい、というわがままをとおしていては、社会生活は破壊されてしまうのは分りきったことであります。社会生活は自分一人で営んでいるものではないのですから、自己を尊重すれば当然他人をも尊重すべきであります。相互の人格を尊重しあう、ということは即ち友愛の基礎であります。今度もし戦争が起れば、いわゆる兵器などは役に立たない。すべてが全滅してしまいます。

ある外人が、軽井沢の私のところにきてMRA（道徳再武装運動）に参加してくれないか、といってきましたが、私は勿論これに賛成でありますが、私は友愛の運動をやっており、この方が日本人の頭に入りやすいと考え、この運動に力を入れているからこれにも力を借して下さいとたのんだのであります。MRAは今日の人間は汚れている人間の尊さを知らない、それには道徳によって人間性の尊厳を現になければならない、というところから出発しているのでありますが日本人は昔から道徳を重んじた国民でありますかと、お互の人格を尊重しあう、といった方が、つまり友愛の考えかたの方がわれわれの頭にはピンとくると思います。労資双方に友愛の思想があれば労働争議も起らず従って生活も安定するのであります近江絹糸の社長親子は新橋や赤坂で豪遊はしても、工員が肺病で苦しんでいるのは平気でいるというようでは、これでは労働争議もおきます。皆さんがお互に神の子だとの自覚から自分自身の尊さ人間の尊さを認識しあってゆけば、日本の再建も可能でありましょう。

日本の四つの島で食糧の自給自足も可能なはずです。そして世界の平和も達成されます。どうか皆さん友愛ということをよく考えていただきたい。」

友愛の實踐に注目

岩淵辰雄氏講演会（長野県望月）で批判

岩淵辰雄氏はさる八月十五日の長野県東信地区支部連合結成大会の記念講演会に本会の懇請をいれて出席、大要左の如き講演を行い、今日のわが国の政治を批判すると同時に、わが会の実践が如何に政治の上にうつされてゆくかを見守つていると、きわめて注目すべき言葉をもつて結んだ。これは公開の席上において、はじめて行われたわが会に対する批判である。

◇皆さんに質問する

本日は友愛青年同志会の支部連合の結成記念に私をお呼びになつて、何か政治の話をしてくれ、ということであります、友愛の皆さんは、友愛、友愛と、友愛を歌にうたつていて実際には何をしているか、ということを、高い壇の上から大変失礼でありますが、逆にうかがいたい。私は友愛は大変結構だとも思いますが、これが今日の政治の上にどれだけの力を持つているのか、それがうかがいたいのです。ただ日蓮さんみたいにお題目だけ唱えていればすむという時代ではないのであります。そんなお題目を唱えるだけの運動ならおやめになつた方がよいかと考えます。

◇映画『スミス都へ行く』について

最近『スミス都へ行く』という映画が上映されています。これはずい分古いアメリカ映画でありますが、今日の日本の政治情勢の中で、これを上映した興業会社は大変頭が良いと思います。

その筋はボスにあやつられて青年スミスがワシントンの議会に議員となつて出てゆくが、次第に政界の腐敗、堕落ということに眼ざめ、自分が多数党のボスのカイライであり政界は見るにたえない醜状を呈している と発言して 卒倒してしまうという、そして選挙区を始め一般の大衆ははじめて議会の真実にふれるというものであります。そこでおもしろいのはスミスが議会で発言しようとすると、多数党はボスの勢力をもつてこの発言を封じようとする。この時、上院議長は、この多数党のスミス発言禁止動議に対して『スミス氏は上院議員である。彼が議員である限り、議員として発言の自由がある』といつて、スミスを満場に送り彼は遂に卒倒するまで多数党ボスの悪について演説する。ボスはスミスの卒倒するのを見て自分の悪を知るのであります。アメリカと日本では議会内部の規則が違うかもしれませんが、少数党の意見といえども多数党が聞いているというところに議会制度のよい特徴があるのであります。

しかるに、先頃の国会乱闘事件をみても分る通り、吉田内閣、堤議長はともに少数党の意見を聞こうとしない。昔、犬養木堂は三十人の少数党で政府案に反対するため小橋議員に六時間の演説をさせ、遂に政府案を不成立にさせたことがある。一つの法案に反対するために少数党が妨害できる、というのが議会制度における政党の権利である。おそらく、先頃の乱闘事件でも、堤議長が反対党に発言をゆるしていたら、ああした暴力は起きなかつたのではないか。多数で押切ろうとするところに無理があるのです。

◇今日の日本に政治はない

私は今日の日本に政治はない、と考えています。それは、国会の承諾もなしに総理大臣が勝手に外国へゆきたがる事実をみても分る。吉田は何のために外遊したいのか米国から金を借りるためだ、と放送している。今年の二月にいくといいだした時には、道路計画と食糧増産計画で金を借りるといつている。しかしこれは池田が去年アメリカにいつた時に、はつきり断られてきた。断られただけではなく、逆にガリオワ資金の返済を要求されて帰つてきた。防衛問題については、日本に成案がなかつたのでアメリカでは金を貸すことを断つた。具体案もないのに金を貸すバカはいない。ガリオワの返済を要求されたが、これはワイロの材料となつて国内で消費してしまつた。米国で二十億円と計算したのに対して、日本では七億にまけろといつている。

八月末には三回目の調査団が米国からやつてくるが、米国では道路計画、食糧増産計画にガリオワ資金を使えばよい。七億円にまけるから、まけた分をそれに使えといつている。だから新しく金は貸さない、ということである。金の貸し借りに池田がいつたら駄目だつたが、吉田がいつたら借りられたということはないと思う。相手はビジネスライクな米国である。そうなると吉田の外遊の理由はどこにもない。それでも吉田は外遊するすると放送している。国内で何かあぶなくなると外国へ逃げ出そうとする。一国の総理大臣がそんなに尻が軽くては困る。それでも外国へゆかなければならない理由があるなら、これを国会で公表すればよい。それができないというのはおかしい。こんなことで政治をしていけるものではない。だから、私はいまの日本に政治はないと思う。総理の地位を高く評価するのは結構なことだと思うが、その地位の人まで高く評価する必要はない。政治はもつたいぶつていてはできるものではないのです。

◇新聞はウソも書く

今度の調査団は、日本へわれわれは金を貸すための調査にきたのではない。東洋の状勢をみているのではない。と、日本はこのままでやつてゆけるかどうか心配である。それをみきわめるためにやつてきたのだ、とはつきりいつている。新聞記事によると調査団はどうも金貸しの調査にやつてくるようなことが書いてある。これはウソである。吉田の御用記事である。もしそうだとすれば、秋になつてから吉田が外遊するということは必要がなくなる。吉田の外遊を待つているのはむしろ、各国にいる在外公館の日本外交官たちである。何故まつているかというと、外国では、今日の日本人を南洋かどこかの現住民ぐらいにしか考えていない。これは英国の例だが、どこでもそうですするという。これを体験してもらうために一度ぜひ外遊してもらいものだ、といつているのだ。吉田という人は歓迎されることが分つていれば、何処でも出かけてゆく人だ。もし秋に外遊すれば、日本の本当の姿がわかるだろう。その意味だけではいつてもらつてもいと思う。

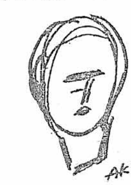
◇現実の動きを忘れるな

吉田は幹事長を池田にかえて人の気持を転換しようとしている。しかし米国では与党の幹事長が交替されたのだから、内閣の政策も当然転換されるだろ、しかしそれについては日本政府から何も報告を受けていないから、これを求めよ、といつている。国際的にも国内的にも今月末（八月）から来月にかけては、いろいろな問題、例えばＥＤＣ（欧州軍条約）、新党問題など相当はつきりしてくると思う。

共産党の動きをみても、今年の三月に、吉田内閣を本年一杯存続させろ、そうすれば日本の経済は崩壊するといつて、いまのところ吉田内閣に対して積極的にどうしよう、ということをいつていない。逆に自然崩壊を待つている。その意味で、三月の内閣不信案の不成立ということにも積極的でなかつた。総評も秋になつたらゼネストを目標とする労働争議を考えているという。こうした現実の中で皆さんの友愛が実際の政治の上にどういうふうにしてあらはれるか、どういうふうにして、これを実践してゆくのか。これは見ものと思つています。

代議士に推せんする

ある劇場での会話



『スミス都へ行く』を見て

やあ、しばらく。その後元気かい？

B　うん、まあね。

A　君にこんなところであうとは思わなかつたね。もつぱら研究室に閉じこもりつきりかと思つていたよ。

B　うん、まあね。どうだい、おもしろかつたかい？

A　ああ、おもしろかつたね。だけど僕は政治に興味がないから議会内のカケ引きなんかはつまらなかつた、というよりよく分らないんだ。あんな白面の青年なんているはずがないしさ……。

B　君、お茶でものみながら、君の『スミス都へ行く』印象記を聞こうじゃないか。この映画は十五、六年前の映画だそうだね。

A　そうかい、それは知らなかつた。民主々義、民主々義つていうアメリカでも同じなんだね。今の日本によく似てるじやないか。

B　そう、似ているね。だけど、日本の国会とはやつぱり違うね。

A　どう違うんだい？

B　ミスター・スミスが上院議員である限り彼の発言は有効であり合法的である、と議長は議員たちに質問された時に述べているね。少数意見でも聞かなければならない、ということなんだ。

A　そういえば、この間の乱闘国会では、議長は反対党の意見を聞こうとはしなかつた。

B　スミスが上院議員になるいきさつなんかが、あの映画では日本人にはよく分らないと思うんだ。アメリカの上院は各州選出二名、九十六名で構成されている。そして各州は自治制、勿論州知事は公選だが長い間二大政党対立が続けられていて、各州の政治的色分けは知事の 所属政党で 決るんだ。あの場合スミスは多数党所属議員である訳だ。

A　それにしても、あんなに簡単に上院議員になれるのかね。

B　上院議員は州で指名することになつていて、それが資格要件だ。スミスは映画の上で相当風諷化され戯画化されて誇張した描きかたをされているけど、まああんなものぢやないかと思う……。

A　テイラーという黒幕が、与論は作つて見せる、といつたが……。

B　これもアメリカと日本の違うところで、今ではそうでもないだろうが、日本の新聞は一党一派に偏しない立場から発達してきたんだが、アメリカの新聞は一党一派の主張を明らかにするというところから出発した。しかしそうしたことを離れても今の日本の新聞も与論をつくつているぜ。

A　しかしなんだね、スミスが、アメリカ建国の根本を説き正義を主張するのは人民の権利である、といつていたね、あそこはよかつたね……。

B　そして、失われた正義、ということをいつていたろう。

A　うん。

B　あの失われた正義のために、という言葉は、いまの日本の代議士たちに聞かせたいところだ。

A　言論の自由、少数意見も聞けというあの映画の語つているところは本当だね。今の日本にはない。この国は、諸君よりも大きいというスミスの言葉は真理だ。

B　とにかく、この映画にはアメリカの色々な面があらはれているよ。例えば、スミスは山出しの青年かも知れないが、アメリカの一般人というのはあんな調子なんだろうね。誇張はあるかもしれないが……。

A　うんそうだ。少し物を知らなさすぎると思つたよ。

B　しかし、議事堂の円屋根をみて感激する感覚というのか、そういうもの、[illegible]院前にマウントバーノンのワシントンの生家を訪ねる、といつたような清純さは今の日本代議士に是非もつてもらいたいよ。

A　本当だ

B　ああいう映画に客が沢山つめかけるようでなければ、日本の民主主義は育たないなあ。

A　議場の中に子供が沢山いたけど、あれはいいね。ああすれば暴力沙汰は起こせないだろう。

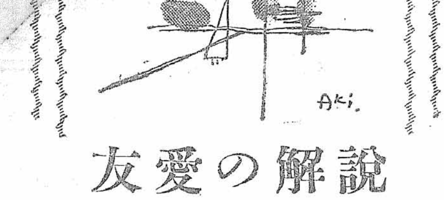
B　どうだい、あれを日本の代議士諸先生に推せんしようじゃないか……。

× × ×

この映画は、議会政治そのものに対する不満と不信が強くあらわれている。それと、米国の上院の構成について、日本の習慣と大分違つているところがある。しかし、少数意見でも聞かなければならない制度は歓迎する。ボス勢力、一般大衆の無知ということは、誇張があつたとしても、見逃せない事実だ。

友愛の講座（Ⅰ）

わかりやすい友愛の解説



『友愛』についての解説のようなものを機関紙を通じて書いてほしいという声が会員の皆さんから、多く聞かれるようになりました。これは皆さんの研究が進み、実践活動を通じて起る様々な問題を解決するにあたつて感じられた真剣な欲求のように思われます。然し乍ら、この会の基本的な考え方や立場は、一つの綿密な理論体系があつてそれを会員の金科玉条として信奉するというようなものではなくて、むしろ会員相互の討議や研究によつて除々に造り上げてゆくというものであります。

ですから、ここにこれから述べてゆこうとすることも、既に発会以来研究されてきたことがらのうちで、一応まとまつた形となつているものを書きしるしたに過ぎないのであります。ただここではつきり申し上げておきたいことは、この会の基本的理念は『友愛』思想というものであつて、それはオーストリーのクーデンホフ・カレルギー伯の著『自由と人生』（鳩山会長訳）に述べられている考え方であります。

この考え方が、日本という一つの国家の内部で、どのような考え方、主張に敷衍されるかという点が問題の中心点であり、これから何回にもわたつて書いてゆこうとするところのものです。

中央教育指導部

第一講

『友愛』は人と人との温いつながりであつて『心』の革命を目標とする。

『自由と人生』の中でクーデンホフ・カレルギーは『自由のための改革が立往生し、平等のための革命が失敗した後をうけて、友愛主義の革命は、今や国民と国民との間、階級と階級との間に橋を渡し、もつて彼らの全部に対して自由なる人間が四海同胞たることの福音を伝えるであろう』と述べて友愛革命の必要を強調しています。この友愛革命とはどのようなものであるかを考えるためにはまず『友愛』という思想そのものについてはじめに申し上げてみなければなりません。自由と平等との対立を解消し克服するこの『友愛』主義こそが、私達が実現しなければならない理想社会の根本的規範として存在すると信ずるからであります。

『友愛』という考え方は、既に古くから存在しています。仏教の大慈大悲の精神、キリスト教の十字架の愛というような己を空しくして他人のために尽す愛の精神は、その宗教的社会を結びつける強力且根本的思想を構成しています。この宗教的立場から説かれる友愛の精神は『隣人愛』とか『自愛即他愛』という考え方によつてひろく一般に知られているところのものであります。しかしながらカレルギーの説く友愛革命における友愛主義はこれらとやや趣を異にしています。何故ならそこにいう『友愛』なる言葉はフランス革命に発しているからであります。」

フランス革命は自由・平等・友愛を目標として起こりました。然し、そこには自由の革命はありましたが、平等と友愛の革命はなかつたといわれています。然も自由と平等は対立関係のままほつたらかしにされていました。経済的平等は誰しも望むところでありますが、そこに自由が存在しなかつたならば、少しも価値のないものであります。

更に自由放任の社会は、経済的不平等、富の偏在、そして富者と貧困の差をより大きくするものであります。この自由と平等という人間社会に負荷された宿命的な二つの対立関係を、如何にして調和統一せしめるかが問題であります。これは容易なことではありません。

クーデンホフ・カレルギー伯はこの対立関係を調和せしめるものとして『友愛』主義を、そして人間社会におけるその考え方の具体的方途として『友愛革命』を提唱いたしました。『友愛革命』こそがこの二つの対立を調和し統一せしめるものだというのです。『革命』というと皆さんは血なまぐさいものを想像されるかもしれません。また敗戦によつて日本は一つの政治革命を経験したといわれていますがそのような占領軍による強制的な形で行われるものを思いうかべられる方があるかもしれません。しかしカレルギー伯の説く革命はそのようなものとは全然性質を異にしているのであります。革命でありますから思い切つた変化がありますが、そんな力による革命では決してないのです。※

※一口に申しますと、それは人間の一人一人の心の中における革命です。人の心の中に友愛の気持をうえつけ、あるいはよびさまして温かい人類愛にすべての人々の心を向けかえることによつて達成される革命であります。

人間の身体はしばることはできてもその心はしばることはできぬというギリシヤの哲人の有名な言葉があります。ですから人の心における革命は、血なまぐさい暴力や強制的な力によつては決して行われないのであります。それは相互の人格の尊重と人間一人一人の生れながらにして持つ権利は、あらゆる社会の国家とか制度のようなもののすべてに対して優越し、尊厳であるべきだという立場からのみ主張され得るものであります

ですから、社会の政治的・経済的制度も、この考え方を基にして変えられならなければなりません。

ただそこには、よりよい生活のためには社会の人々の『心』が先きか『制度』が先きかという問題があります。然し友愛社会は一つの理想でありまして、それは簡単に達成されるものではありません。もし仮に今すぐ出来たとしても、それがそこに住むすべての人々に受け入れられるとは断言出来ないでありませう。そのようなものこそは逆に最も非民主的なものとならざるを得ないのであります。それ故に制度は、人々の『心』の革命の達成の段階に従つて少しづつ改善されて行くべきものであるといえます。私達の運動も歴史のあゆみをふみ外すことなく一歩一歩着実に進むべきです。

（第一講終り）

人権擁護から組合側支持
近江絹糸スト結論　側面支援惜まず

六月二十日の幹事会決定にもとずき、近江絹糸争議問題をとりあげてきたわが会は、同絹糸津工場及び富士宮工場等に対してその実態調査を続けてきたが、八月二十五日の休会あけ常任幹事会において、これら実態調査報告特に三重県津市松田二章幹事の調査状況を参考にして次の如き結論をみたのでこれを公表した。

【決定事項】近江絹糸人権問題に関し次の如く決定したので発表する

一、近江絹糸争議に関しては、人権擁護の立場より、組合側のかかげる要求を支持し、争議の経過については勿論今後とも重大関心をもつて注視する。

二、闘争えの側面的支援は行うが本会の在質上共闘等の形で直接介入は控える。

1、世論の喚起を促すことは今後とも続けるが、特に本会がとり上げた趣旨、即ち人権尊重を強く訴える。

2、関係官庁への陳情並びに申入等を行う。

（イ）人権擁護局、労働基準局、労働委員会等に対しては、早急に争議解決の処置をとるよう陳情する。

（ロ）警察当局に対しては組合側を刺激しないように努めることを申し入れる。

3、組合側の乱行等に対してはその原因が長期闘争による不安懐疑等によつて起つたことに留意し、反省を促すにあたつても争議の本質を意識させるよう努めると同時に組合員に光明を失なわせないようにする。

三、争議の早期解決に対しては、本会としても強く希求するものである。

二特別委結論急ぐ
各方面の要請に応え

大会決定にもとずき設置され活動している学生健康保険問題・売春禁止法制定調査の両特別委員会では、各方面より注目されその成果が期待されているが、このほど一応その成果をまとめ中間的ではあるが報告書作製を急ぐことになつた。

両委員会とも、現在各委員が分担をきめ活動しているので、左記の通り委員会を招集、その成果の報告書を作製し常任幹事会に提出するものである。

即ち学生健康保険問題特別委員会は来る九月十三日午後三時より、売春禁止法制定促進に関する調査特別委員会では同二十五日午後三時よりいずれも本部事務所において開催されることになつている。

近江絹糸争議で　津・松田幹事報告

八月廿三日午前

予定を変更して部労政事務所勤務現在同支部労組専従員の中島君と私の両人で調査だけで止める事にした。機関紙配布その他の会活動は近く地域員、帰省学生と共同して行うよう指示をうながしましたから近く何らかの報告が出来ると信じます。

前回と全く異つて新組合旗、友誼組合の旗旗の前を通つて受付に行く、就労斗争打切強力な斗争となつてか殺気すさまじく受付、事務所間の僅か数少の距りがどうも歩きにくい。だのに事務所寮間と電話不通で寮に行けという全く以て恐る恐る勝手のわからない所を勿論工場とか寮とかを散見出来る利点を活用するから余分に恐る恐ると成る訳で　たずねながら　寮に着く。

面接したが寮では話がはずまないし庭には陰が無しで。外に出て話すことにした

別に変化無くこと新らしい話は無かつたで彼個人の体験した会社側の非行を少し報告する

職紹介時の麗々しさ事項の不履行寮の不備とか昇給の僅かなこと

これは条件不履行に依る解約要求は出来るが履行請求の法的基盤は何も存在しないらしい

就労睡眠の時間制が守られなかつた

組合要求廿二項中に亘る事項で時間外勤務を成績不良として取扱う故に賃金の請求の気をくじかれた。

消燈者が眠つていると召集して運動場を作るとかその他いろいろの作業を強要した、現在鈴鹿寮の南側にある排球コートはかくしてコンクリートの床をほり起して改修された例の一つである、これに対しては会社側の返答の上手さと組合員側の無力のために法に照らしても大した事として取扱かわれないらしい。

私文書の検査

本会津地域からの連絡便か六月上旬でしたが争議直前検査され寮管理者に呼出を受けかなりしかられたとか、而かして最初かなりの便機関紙を奪われ今後かかる会に関係せずにと強要された。これに付て取扱いを考慮中

其他要求の廿二項目中人権獲得の要求は体験からにじみ出ている。現在非常につかれている様だ。而かし完全勝利のために後二カ月くらい争議は続くかと覚悟しているといつて張切つていた

昔から『悪法も法なり』の言葉が示す通り、法律の権威は絶対であり、又それを執行するものも忠実であらねばならないといわれ、正直者の私達もそう思つていた。ところが、少し考えてみると一寸納得がゆかないことが多い。特にこの頃ときたら全然納得がゆかないのである。ここにわかりやすく法律を「一国民を保護するものと、取締るものとに分けてみると、概して執政者は、どうも、取締る法律には忠実であり、保護する法律には、あまり熱心でないようである。取締る法律ときたら忠実に執行するのを通り越し、拡大解釈などという、うまいことをいつて、取締らなくてもよいものまで、「一生懸命にはてやるのだからたまつたものではない。ここで不可解なことは、こんなに熱心に取締るものでも、一度権力者を取締らなければならない破目になると、猫に見込まれたネズミのように、チンとしてしまうのだから、なおさら正直者はやりきれない造船疑獄問題、これに関連しての指揮権発動、近江絹糸ストにからまる労働法規無視に対する取締当局の怠慢等法の権威を自らなくしているようなことが続けられている限り法治国民であると自覚している私たちの考えもぐらついてくるのではないか。法の権威をふりまわす人々よ、しつかりしてくれ。

（のんき）

どこえ行く欧州防衛共同体
流産したEDC

近ごろ九カ国会議なるものが喧伝されている。EDC（欧州防衛共同体）条約が八月三十日、フランス国民議会によつて息の根を止められたので、それに代る新欧州防衛体制を協議するためである。この欧州軍計画（EDC）の立案者はフランスであり、西欧防衛のためにドイツの再軍備をいやでも認めなければならない破目にあつて窮余の一策であつた。被占領国であるドイツは、既設のNATO＝北大西洋条約機構、アメリカを加えた西欧十四国が加盟＝に加盟させることはできず、さりとて欧州防衛には欠くことのできない国であるので、それを欧州軍という超国家機関のワク内で再軍備せしめようという考え方は、再三軍国ドイツの脅威をうけたフランスとしては当然のネライであり、フランスの『天才的想像力の産物』として他の各国（オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ・イタリア・西独）の支持をうけたのである。かくて『共通の予算を持つ、共通の軍隊』という軍事共同体は他の五カ国では案外早く批准を見たのである。ところが、この計画はフランス国内の世論を真二つに割り、軍国ドイツ再興を怖れるフランス国民の感情は、四年間政府を苦しめぬいたのである。その感情が、ジユネーブ会議によつて、国際緊張が緩和し戦争の危機が遠のくと共に、遂いにフランスをしてEDC条約修正案を提出せしめたのである。

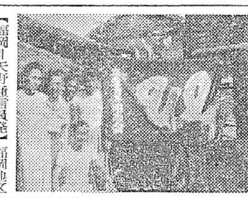
修正案の骨子は、再建ドイツ軍は全部欧州軍にいれる、しかも空軍以外は仏国内にいれない、八年間の試験期をおく、仏国軍は欧州軍に全部いれない、情勢が変化したら脱退出来る、といつたものである。しかし既に原案の批准を完了しているオランダ・ルクセンブルグ・ベルギー・西独は批准のやりなおしをやらねばならず、結局この修正案はブラツセル会議でイタリアを含む五カ国の反対で否決されたのである。マンデス仏首相は、議会で原案の批准が否決されることを予期して、八月三十日欧州軍の批准討議を打切つてしまつた。

修正案が否決されたからEDCもフランス議会を通らなかつたのだ、ということにするのが、本当のねらいだつたかもしれない。フランス人の本音は、たとえ欧州の一部としてであつても、ドイツの再軍備は『全くいや』なのだ。

ともあれ、ラ・マルセーズの歌高らかな中に欧州軍計画はフランス多年の病根として手術された。しかし、これによつて西独の再軍備そのものが流産してしまうとはいえない。ドイツ軍事能力はヨーロツパ防衛のために欠くことのできない要素であることは疑いもなく米国の結論である。第一、西独はEDC成立とともに独立を与えられることになつていたのだから、このままの状態で我慢できないであろう。米国は欧州軍がダメなら西独を単独で再軍備させてNATOに入れると前からいつているし英国もこれに反対ではない。しかしこれはまた、欧州軍と同様大へん厄介な仕事である。そこでチヤーチル英首相提案の九カ国会議（EDC六カ国と英・米・加）において、傷つけられた『西方の結束』を固め『ドイツ主権の回復と再軍備』の妙案を検討しようということになつた。これに対し西独だけは『時期と範囲』に不満を表明している。この会議の成否はとにかく、極東にSEATO（東南アジア条約機構）論議が注目されている今日『どこえゆく欧州防衛共同体』はわれわれにとつても身近かな問題なのだ（北人）

本邦随一の　高品位炭
北炭
北海道炭鉱汽船株式会社

本年中に支連へ
九州で活潑な動き



【写真は支部員と会旗】

【福岡＝矢野通信員発】福岡地区においては、八月十一日以来既に四回の会合を重ね支部結成準備を協議中であるが、具体的運動方針大綱が次の通り決定した。

一、本会の趣旨を街頭において直接大衆に訴える。資金カンパも行う。

一、会旗を作製し、これを街頭進出その他会活動の際にかかげる。

一、同志獲得には現会員が一対二で勧誘する。

一、本年中に九州支部連合会結成を目標とする。

一、積極的資金カンパを常時行う。

一、『自由と人生』の回覧徹底と、その理論の発展的研究の励行。

なお現在福岡地区は福岡市および三井郡に会員が在り活動している

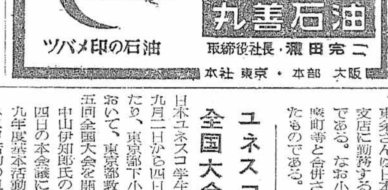
聴衆千名を超ゆ
東信で記念講演会

【長野県本牧町】八月十五日は当地に古くから伝わる望月の火祭りの当日とて、本牧町（モトマキマチ）は折柄日旺日でもあり午前十時ごろには筑摩川西岸一帯の村々から繰出した人々で相当のにぎわいを呈し、記念講演会が始つた午後三時過ぎには、そう広くもない本牧銀座通りは人、人、人の波であつた。恰も前日日本エアサービス会社（社長御沢あつし氏、本会評議員）の好意によるビラ約十万枚がこの川西一帯の上空から同社所属本会特用機友愛号によつてまかれていたため、町に出た青年壮年は等しく足を望月高校講堂に向けたのである。聴衆約千二百名を数えた。

講演会はまず青年弁論から始まり、本会弁論部員折戸博司君が、『電気料金の値上げを衝く』と題して登壇、続いて川手正一郎常任幹事は『農家生活安定への道』と題し極めて謙虚ながらも具体的な事例をあげて、蚕価、米価等農産物価格と肥料等農村消費物の価格問題から説き農村の圧迫されている現状は、農村の人々の手で解決しなければならない。一つの私見として友愛主義の基礎に立つ協同組合方式を提唱すると結べば聴衆は身近な問題であるだけに万雷の拍手をもつてその感銘を表わす。次に中部日本弁論会理事長河村友夫君立つて『青年よ希望と勇気を持とう』と名調子で説けば満場その調子に酔せられる。

青年弁論を終つて政治評論家岩淵辰雄氏の講演に移り、得意の毒舌をもつて開口一番、友愛青年同志会の諸君は友愛を看板にかかげているだけでなく、その考を実際の政治にも具現してもらいたい、と述べ続いて吉田内閣を辛辣な言葉で攻撃しながら民主主義のあり方を説いて生の政治評論を聞く機会を持たない当地の人々に強い感銘を与えた最後に鳩山会長が挨拶に立ち、友愛は自分の人格を尊重し他人の人格を尊重するところから出発する。敗戦によつて国土が狭くなつてもお互の心と心が友愛で結ばれ、それが日常の生活にあらわれてくれれば、米の足りなくなることもない、またこの考えが世界にひろがれば戦争もなくなる、と友愛の基本を説き聴集に多大の感銘を与えた。会長が降壇するや、聴衆は会長を囲み会長万才の声友愛万才の声が期せずしてわき起る。時に八月十五日午後四時卅五分であつた

（註＝岩淵辰雄氏の講演及び、会長挨拶要旨はそれぞれ三面と二面に掲載してあります）


産業運輸の原動力！
丸善石油
取締役社長・和田完二
ツバメ印の石油
本社 東京・本部 大阪

ミス櫛形に　本会会員

本会会員東条久江さん（二〇）＝山梨県中巨摩郡榊村＝はさる八月、同郡櫛形町において行われた美人コンテストにおいてミス櫛形第一位に選ばれた。

東条さんは日本相互銀行小笠原支店に勤務する明朗な近代女性である。なお小笠原村は本年巨摩町等と合併され櫛形町となつたものである。

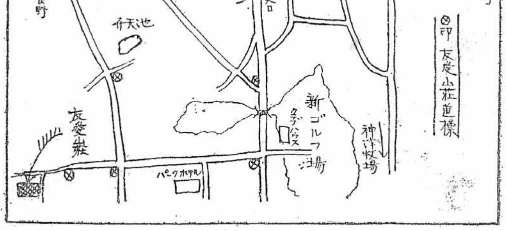
ユネスコ学連　全国大会開く

日本ユネスコ学生連盟では、さる九月二日から四日まで三日間にわたり、東京都下小金井の浴恩館において、東京都教育庁と共催で第五回全国大会を開催した。中山伊知郎氏の講演の他、三日四日の本会議においては、二十九年度基本活動方針、中高校ユネスコ活動の組織化等を討論採決したほか、特に原水爆と平和問題に関して活発な意見が開陳され、またこれらに関連して他団体との提携について討論された。

友愛山荘御案内
秋です！輕井沢へ！

二度とない青春の思い出に高原の秋を満喫しましよう　澄みきつた高原の空氣　それは明日の勤労明日の勉学への糧です　友愛山荘は皆さんの御利用はをお待しています。

一、期間　十月末日まで
一、場所　長野県北佐久郡軽井沢町南ケ丘友愛山荘
一、収容人員　二十名まで　三間（部屋）
一、設備　寝具、食器の用意あり
一、使用料　一人一泊につき百五十円（寝具使用料は実費を頂くかもしれません但し食費を除く）
一、交通案内



汽車……上野から信越線で軽井沢駅下車
道標……軽井沢駅より山荘まで道標があります
一、申込所
宿泊……東京都文京区音羽町七ノ一〇
友愛青年同志会電話大塚（94）二八〇一番
一、観光案内　浅間山及び鬼押出し・弁天池虹鱒釣り・浅間牧場・つつじが原・新旧ゴルフコース・パツテイングゴルフ・星野温泉塩つぼ温泉等々